

(科目コード : 8304620002EE)

【改訂】第31版(2013-04-17)

【科目】電気基礎

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】前期・2単位

【対象学科・専攻】電子メディア 2年

【担当教員】中山 和夫

【授業目標】

- ・正弦波交流回路を、記号法を用いて取り扱うことができる。
- ・電流と磁気に関する現象について理解し、問題を解くことができる。
- ・静電気に関する現象について理解し、問題を解くことができる。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は45時間である。

1年生のときに学習した「電気基礎」の続きとして、電気回路および電磁気学の基礎知識を修得させる。電気回路の分野としては、正弦波交流回路の取り扱い法と計算法について説明する。また、電磁気学の分野では、まず電流と磁気に関する現象とその取り扱い法、つぎに静電気に関する現象とその取り扱い法について説明する。いずれの場合も、演習問題を解かせながら理解を深めさせる。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：わかりやすい電気基礎：高橋寛、増田英二：コロナ社：978-4-339-00757-2

問題集：トレーニングノート「電気基礎(上)、(下)」：コロナ社

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式

【メッセージ】

演習問題をたくさん解いて、電気回路および電磁気学の基本的問題に慣れよう。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%，期末試験：40%，レポート：20%

【授業計画】(電気基礎)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回～第14回	1. 電流と磁気 2. 交流回路	1. 磁気、電流と磁界、電磁誘導作用、電磁力 2. 正弦波交流の性質、正弦波起電力の発生、交流回路の取り扱い方、交流回路の電力、共振回路		
第15回	中間テスト			
第16回～第30回	1. 静電気 2. 交流回路	1. 静電現象、コンデンサと静電容量 2. 複素数、ベクトル表示、交流回路の複素数表示、記号法による交流回路の取り扱い		